ぴったりが見つかる

親子の絵本時間

今月の質問

疲れている時に、娘と一緒に読めて、自分もほっこりできるような絵本はありますか？

（1才女の子のママ。上に13才・9才・7才の男の子）

お答えします

上に3人のお子さんがいらっしゃるとのこと、『みんなであなたをまっていた』(＊1)と、ご家族の構成がそっくり！こちらはパパとママ、3人のきょうだいが赤ちゃんの誕生を心待ちにしている様子を描いた温かいお話。子どもには、「あなたは家族みんなに愛されている」ということが伝わり、ママも妊娠中の喜びを思い出すことができます。

「だっこっこ」「ほっぺすりすり」など、愛情あふれる詩がたくさんの『あかちゃんあかちゃん』(＊2)も、やさしい気持ちになれる名作。絵を見ながらスキンシップをしてもいいですし、1才くらいの子は、自分より小さい子を見て「可愛い・お世話したい」と思う気持ちがすでに芽生えているので、「赤ちゃん可愛いね」と言いながら読んであげてもいいですね。

また、『えがおがいいね』(＊3)は、親子で違った読み方ができる絵本。子どもは動物たちの泣き顔・笑い顔を楽しめて、大人には「泣いてもいい」「みんなで泣いて、また笑おう」というメッセージを届けてくれます。

(＊1)
ジリアン・シールズ 文
アンナ・カリー 絵
松井 るり子 訳
ほるぷ出版

(＊2)
たかぎ あきこ うた
鈴木永子 え
リーブル

(＊3)
下田冬子／作・絵
鈴木出版
※品切れの可能性があります

選び方アドバイス

？質問

4才の娘は、自分よりだいぶ低年齢向けの絵本ばかり選びます。親としては、もう少し読み応えのあるものをすすめたいのですが。
(4才女の子、9ヵ月男の子のママ)

お答えします　本人の意思を大切にしつつ その子に合った絵本を探して

小さいけれど、子どもも一人の人間。本人の**「読みたい」という気持ちを尊重して**あげましょう。「小さい子向けだからダメよ」とは言わないようにしてくださいね。そのうえで、「お母さんも一緒に読みたいのがあるから、○○ちゃんが選んだのと交互に読もう」と誘ってみてください。

その際は、女の子が主人公のもの、幼稚園生活を題材にしたものなど、**感情移入しやすいものを選ぶ**といいでしょう。『チリとチリリ』※1や『おひめさまようちえん』※2のシリーズ、『まあちゃんのながいかみ』※3などは、4才くらいの女の子に特に人気のある絵本です。

※1　どい かや　アリス館
※2　のぶみ　えほんの杜
※3　たかどの ほうこ　福音館書店

答えてくれたのは

絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ
司書の安藤さん

質問募集中♪

このコーナーでは、知りたいテーマの絵本や、選び方・読み方についての質問を募集しています。P15のプレゼント応募と併せて、もしくは編集部のメールアドレス(henshu@l-ma.jp)へお送りください。
※メールの件名は「親子の絵本時間への質問」と明記。